

## 安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第9回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	令和2年10月29日(木) 午後1時30分から午後4時00分まで
3	会 場	安曇野市本庁舎3階 会議室301
4	出席者	那須会長、丸山副会長、高橋委員、望月委員、中山委員、宮崎委員、小岩井委員、藤森委員、増田委員、降旗委員、安田委員、栗原委員
5	市側出席者	甕職員課長、二木危機管理課長、上野契約検査課長、野口政策経営課長、渡辺秘書広報課長、降幡情報政策係長、児林財政課長、望月収納課長、岩渕財産管理課長、高橋地域づくり課長、黒岩健康推進課長、上條国保年金課長、西澤介護保険課長、山浦建設課長、中田公園緑地係長、井口住宅係長 金井総務部長、丸山総務課長、藤森行政管理係長、飯田副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年10月30日
<b>協 議 事 項 等</b>		
1	会議の概要	
	(1) 開会	
	(2) 会長あいさつ	
	(3) 会議事項	
	①第3次行財政改革大綱・実施計画に基づく令和元年度 取組結果及び取組検証について	
	②公の施設の使用料のあり方について	
	(4) その他	
	(5) 閉会	
2	会議事項	
	(1)第3次行財政改革大綱・実施計画に基づく令和元年度 取組結果及び取組検証について	
	○長期的な労働時間削減の取組みを市としてもお願いする。 また、超過勤務についても上司からの命令で行われるものなので、しっかりとした実績管理をお願いする。	
	⇒引き続き職員の勤務管理の徹底を図っていく。	
	○入退庁記録参照システムの導入を進め方について、施設毎に分かれていることに理由はあるのか。	
	⇒予算の兼ね合いであり、計画的に導入していく。	
	○防災無線について、狭い範囲で迅速に流すことは出来ないのか。	
	⇒防災無線の放送するタイミングは担当課の判断になる。 また、屋外スピーカーから直接放送することも可能なので、要望があれば区と相談しながらカギを預けること検討していく。	
	○気象情報も危険性があれば迅速に流している。 正確な情報を流したい担当課の考えも理解できるが運用について早期の調整をお願いする。	
	⇒了解した。他自治体の事例を参考しながら検討していく。	
	○職場の業務内容に応じて、専門性を持った職員の配置をお願いする。	

⇒若い段階で色々な部署で経験を積み、自分の適正を考え将来を選択できるような複線型昇任制度の構築を進めている。

○大綱全般の管理について、未達成の実施計画について、確実に実施・結果が出るよう取組んでほしい。

また、目標の数値についても達成困難なものには見直しの検討をお願いします。

⇒今後、第4次大綱や実施計画の重点事業の中で取組んでいく。

○ホームページの満足度は必要な情報にすぐアクセスできるか、有益な情報があるかという点である。市民にとって有益な情報の提供ができるよう引き続き検討を続けてほしい。

また、偽装メール等詐欺情報の注意喚起についても積極的に広報して行ってほしい。

○ホームページのシステムをリニューアルする理由は何か。

⇒必要な情報へのアクセスを向上させるため、全体的な形式を見直す予定である。

○ホームページのトップページで表示される田園産業都市について、この言葉をどう理解したら、どういう形になればそうなるのか。

⇒田園産業都市は市総合計画に掲げられた目標である。従来、田園に産業も絡められた都市になれば良いという意味が込められている。

○言葉ではなく意味が理解できるように、市としての考え方を注釈として加えた方が良い。

○区の加入促進について、具体的にどんな取組みを行ったのか。

⇒区長会の中で検討する専門部会を設け、その中で研究されたことを区長会全体で共有している。

○ホームページの広告枠について、何枠か空白になっているところの理由と対応をどうしていくのか。

また、ホームページのリニューアルで広告枠をどう扱っていくのか確認したい。

⇒全10枠を一括で入札し、広告代理店が落札している。仮に空いた枠があっても市の収入が減ることはないが、空いていることはデザインもあまり良くないので、埋めるよう広告代理店に要請していく。

また、リニューアル後のホームページにおいても広告に力を入れていきたいと考えているが、枠の増減等については状況を見極めながら進めていきたい。

○ITの活用による市民と職員の非対面方式への転換について、市職員も不要な移動時間を減らして、市民との対面時間を増やしていくことは今後の課題であるので、テレビ会議やWeb会議を推進して行ってほしい。

⇒例に挙げると移住定住促進事業においてオンライン相談会を予定している。徐々にではあるがセミナーや会議等で非対面方式への転換の取組みを図っている。

○今後、移動時間や会議時間を定量化し、Web会議等に転換してどれくらい削減できたか効果を把握していくことを検討してほしい。

⇒了解した。

○民間では一つの仕事をその人がどれ位の時間で処理できるのかストップウォッチで計測し、

仕事あたりの人件費コストを算出する。行政ではそこまでやっていないと思うが、徐々に民間の考え方を取り入れていってほしい。

○地域づくりコーディネーター、市民活動サポートセンターについて、各地域に設置することを願います。

○国保年金課の目標としている特定健康診査受診率の母数について、対象は市民全員ということか。その考え方を教えてほしい。

⇒特定健康診査の対象者は、自営業者や無職等で市の国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方が対象となり、約1万5千人いる。

○市民の中には定期的に検診をしている方もいる。そういった方たちにはここまでやる必要はないのではないか。

⇒定期的に通院している方については、その検査結果の提供をお願いし、応じていただければ受診したという形にしている。

○その点について広報をお願いします。

○健康長寿を保つには、単純に受診率を上げるだけでなく、現在もっている体力をどう維持向上させていくかの考えが抜けているのではないかと考える。平均寿命と健康寿命の差をどう埋めていくかが重要だと考える。

⇒令和3年度から虚弱、フレイル対策に健康推進課、国保年金課、介護保険課の三課で取り組んでいく。

○認知症、行方不明者の対策として、位置情報がわかるもの市から提供する取組はできないか。

⇒介護保険のサービスの中にはあるが、対象者が常に身に付けていただくことが課題となっている。

現在は何か対象者と分かるものを色んなところにつけることで、見かけた方から通報がくるような仕組みづくりができないかと検討している。

また、日頃からの安全確認として、近所の方に協力を得たネットワークづくりや企業等と協定を結び、連絡をいただく対応を取っている。

○忘れ物防止のタグ利用といったICTの活用や実験の検討をお願いします。

○コロナ禍による医療費の増減への影響について、医療機関では患者数が減少していると聞いているがこのことをどう考えている、考えていくのか。

⇒医療費について、市の支払い状況の件数、金額はコロナの影響が出始めた3～5月は前年比で10～15パーセント程度減少している。

糖尿病など定期的、長期的な治療が必要な方が受診控えをし、投薬などを中断してしまうと長期的には医療費に影響が出てくると考えている。

⇒コロナ禍の影響は長期的な分析が必要と考えているが、まずは必要な方に必要な医療が供給されていることが重要である。

また現在、感染症対策が浸透してきているため、感染症の患者数は減少してきていることは確認できている。

○本庁舎のエネルギー量について、水道は減少し、下水道は増加しているが、上下水道の使用

量は連動していないのか。

⇒本庁舎のトイレの洗浄水や植栽への散水に雨水を利用しており、雨水の使用分が下水に加算されているため連動していない。

○電気の使用量が増加したことについて、契約電力が上がることはないのか。

⇒デマンド監視を行っており、上限を超えそうな場合にそれを抑える仕組みとなっている。

○橋梁の長寿命化について、過積載の車両の影響があると思うがどう考えているか。  
そういったことをドライバーや市民に認識させていくことも重要だと考えるので、啓発について検討をいただきたい。

○公園のトイレの掃除が課題になっているが、公園パトロールは誰が行っているのか。

⇒通常の日常点検とパトロールは市の職員がしている。遊具については、日常点検とパトロールはシルバー人材センターに委託し、年に一回専門の業者で点検を実施している。  
昨今、公園の使用が荒い部分があり、そういったことも考え点検している。また、連絡があれば対応している。

○どれ位の間隔でパトロールを実施しているのか。

⇒遊具は月一回、通常のパトロールは特に決めてはいないが、月に数回以上、職員が公園に行くため、その都度実施している。

○地元以外の方が公園を使う機会も多いため、心配な点である。

○犯罪抑止のため監視しているといった様子を見せていく必要がある。また、怪しい人がいたら、市へ連絡するようすれば抑止効果がでるのではないのか。

○公園のトイレは、夜間は閉鎖するのか。

⇒公園によっては冬期に閉鎖するトイレはあるが、基本的には閉鎖しない。

## (2) 公の施設の使用料のあり方について

○近隣自治体との整合性を考慮してあることは良い点である。市の収入の部分を見直していくことは重要であるので進めていただきたい。

○あり方に掲載されている維持管理費用について、もう少し精査が必要である。  
対象としない経費について、施設は必要があれば再度建設しなければいけない。そのことに備えた積立ても含めて、今後どう負担していくか考えていく必要がある。

○このあり方について、市全体の視点で見えていく必要がある。このあり方は議会への説明は済んでいるのか。

⇒令和2年9月定例会の全員協議会で説明し、市民への説明をしっかりと行うよう指示はあったが、受益者負担やこのあり方についての具体的な質問や意見はなかった。

○負担割合について、上限目標としており、数値が独り歩きしてしまう点もある。目標という説明を受けるとその数値を目指す努力が必要となるので丁寧に説明してほしい。

⇒市民が目的を持って利用する公の施設の使用料の考え方である。将来も使用する施設のた

め、建設費用も使用料の算定に加えている自治体もあるが、安曇野市では施設は全ての市民の方が利用していただきたいという思いで建設したものであるから、建設費用は加えていない。

ただし、維持管理費用については利用する方にある程度負担していただきたいと考えている。負担割合は確かに重いかもしれないが何らかの数字がないと議論にもならないので、まず検討していくためのたたき台としてこの公の施設の使用料のあり方を策定した。

今後、見直しを進めていくにあたって色々なご意見はいただきたい。

- 今後の考え方と要望として、スポーツ施設はスポーツをする方だけの施設と考えがちではあるが、いざとなれば市民の避難場所やスポーツ以外のイベントでも広く市民に利用される。スポーツ施設はあくまでも代表的な利用の仕方でも多くの市民に利用されていると考えている。スポーツ施設の負担割合の75%について、トレーニングジムに引っ張られて75%に設定されているのは厳しい考え方であり、50%か75%で比較すれば、本来50%にすべきであると考え。現状の負担割合を見て、検討の余地があれば再検討をお願いします。

⇒まずは現状の精査を行い、市民への説明をした上で、見直しが必要であれば検討していきたい。

- スポーツ推進審議会への委員に対しても、教育委員会を通して、今のような説明をお願いします。

⇒了解した。

- 稼働率について、料金改訂を行ったら稼働率が下がってしまうと実質の収入に影響する。現状の稼働率が適正かどうか確認し、稼働率が低いものは使用料の見直しにあたっては阻害要因を排除し、稼働率を上げる取組みを行ってほしい。

⇒施設の設置目的を達成し、施設の存在目的がなくなっている施設もあり稼働率を引き下げている可能性もある。施設の再配置の視点も持って取り組んでいく。

- 話を始めるには基準がないといけない。個別の調整は必要だと考える。また、受け手も何もないと困ると考えるので、上手い運用をお願いします。

- 以前、松本市でも利用料金の新聞記事で入場料を徴収するものとしらないもので料金に違いがあることや半日利用、一時間利用でどれ位、クリーンセンターの持込み料金がどれ位といった記事があった。他の自治体の数字を参考に見直しを進めていってほしい。

現在、建設している新総合体育館について、このあり方の考え方で計算すると使用料はどれ位になるのか。

⇒メインアリーナの全面使用で入場無料の場合、1時間あたり4千円である。照明料等は別である。

- 松本市の場合、冷暖房費は比較的高い。新総合体育館は低く抑えようとしている。

- ランニングコストをカバーできるよう上手い活用を考えていっていただきたい。

- 指定管理者制度が導入された場合は、指定管理者が利益を出せば指定管理者の収入となるのか。

⇒基本的にはそういう契約になる。

- 行政として基本的なものは指定管理者に支払っていくということか。

⇒そういうことである。新総合体育館はまだ条例が議決となっていないが、議会に提案した案では、指定管理者制度を導入していく案となっている。議決されれば、スポーツを振興していく力とともに収益を上げられる力をもった業者に指定管理者をお願いしたいと考えている。

⇒このあり方は既存施設の使用料の根拠をどうにかしたいと考えて策定したものである。今回、新総合体育館が建設されるにあたり、その使用料の根拠が何もないため、その適用の第1号となっている。

スポーツ施設の負担割合が現状の約65%から75%になることについて、単純に比較すると10%上昇するようと思われるが、このあり方で示している利用者の負担割合の75%は別物として考えていただきたい。

また、新総合体育館については、指定管理者制度を導入する予定であり、このあり方の考え方で算定された使用料を上限として、指定管理者がより利用されやすい料金体系を構築するのでないかと考えている。

行政改革の立場としては、こういった歳入の確保、公平性の担保を図る仕組みづくりができるよう議会に提案し、審議いただいているとこであり理解をお願いする。

以上